

経営健全化計画においては、収益性、効率性、健全性の一層の向上を目指して業務の再構築に取り組むこととしており、平成24年3月期までの各年度の計数計画ならびにその達成に向けた施策を掲げております。

平成21年3月期につきましては、世界的な金融市場の混乱が続く中、国内外の景気減速を背景とする企業業績の悪化による与信費用の増加や、株式市況の低迷による保有有価証券の減損処理の増加もあり、経常利益・当期純利益はいずれも計画を下回る

厳しい実績となりました。そのような中、公的資金の返済原資となる剰余金は1,382億円まで確保しており、返済に向けての財務基盤は確立されております。

今後とも、効率的な経営のもとに安定的な収益を確保するとともに、公的資金返済後も見据え、一層のサービス向上・営業力強化のための積極的な施策も展開し、お客さまと市場からの信頼を確かなものとしてまいります。

■ 経営健全化計画の収益等の目標

● 地銀トップクラスの収益力を継続

〔平成22年3月期業績予想〕

コア業務純益745億円、当期純利益285億円

※ 当初計画策定時の想定を上回る急激な経済環境変化もあり、平成22年3月期は、上記水準を目指します。

● 横浜銀行との戦略的な3行システム共同利用

(平成23年5月予定)に向けた投資が増加。

地銀有数の効率性(OHR)を継続。

● 公的資金の返済原資は既に確保

〔平成21年3月末〕剰余金1,382億円

● 安定した財務基盤を確立

〔公的資金返済後の目途〕連結自己資本比率9%

連結Tier1比率6%

【収益】(北陸銀行+北海道銀行)

(単位:億円)

	21/3月期 計画	21/3月期 実績	22/3月期 計画	23/3月期 計画	24/3月期 計画
業務粗利益	1,730	1,657	1,778	1,803	1,829
経費	930	915	950	956	952
うち機械化関連費用 (OHR) (※1)	144 (53.76%)	136 (55.21%)	165 (53.45%)	169 (53.02%)	165 (52.03%)
業務純益	799	767	827	847	877
コア業務純益 (※2)	815	768	827	847	877
不良債権処理損失額 (※3)	280	355	220	220	220
経常利益	440	213	587	601	634
当期純利益	490	379	347	353	373

【剰余金残高】(ほくほくFG+北陸銀行+北海道銀行)

	21/3月期 計画	21/3月期 実績	22/3月期 計画	23/3月期 計画	24/3月期 計画
剰余金残高(※4)	1,493	1,382	1,756	2,027	2,309

【自己資本比率】(ほくほくFG連結)

	21/3月期 計画	21/3月期 実績	22/3月期 計画	23/3月期 計画	24/3月期 計画
自己資本比率	10.47%	10.81%	10.74%	10.92%	11.05%
Tier1比率	7.45%	7.58%	7.85%	8.27%	8.70%

※1 経費÷業務粗利益

※2 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入 - 国債等債券関係損益

※3 一般貸倒引当金繰入を含む

※4 利益剰余金のうち利益準備金以外